"ひと"と"まち"を繋ぎ、未来を紡ぐまちづくり

NPO法人 ひとまちつなぎ石狩

【団体の設立目的】

当法人は、まちづくりや市民活動の支援、文化継承に関する講座や地産地消を推進する事業等を行い、これらの情報を広く発信することにより市民自治力の開発に努め、行政・企業との協働も視野に入れて、市民活動の推進と地域振興に寄与することを目的として、平成16(2004)年4月に設立しました。

【まちづくりと市民活動】

石狩市より指定管理を受け、石狩市市民活動情報センター「ぽぽらーと」では、市民活動団体・市内のイベント情報の発信、印刷機の貸出等の市民活動支援や、市民図書館との連携による図書の受け渡しなど、幅広く市民の皆様にご利用いただいています。



石狩市市民活動情報センター「ぽぽらーと」

石狩市内の福祉事業所で製造したパンやお菓子、また農家さんの野菜や果物の販売、市内在住の作家さんの風景画・植物画などのアート作品を紹介しています。さらに、高齢化する町内会活動に寄り添った提案や、市民のニーズに合った講座や講演会の企画などを行っています。

事業では、「地産地消の促進」や「地域の歴史・文化の継承」に関わるまちづくりをはじめ、まちづくり団体の運営に関する相談など、市民活動をサポートし、また、より良いまちづくりを実現するため、行政や企業の施策を提案するなど、石狩市と協働しながら様々な事業を行っています。

石狩市との協働による代表的な事業とする『いしかり食と農の未来づくり事業』は、毎年春~秋にかけて石狩の農産物について学ぶ講座を開催し、たくさんの市民に参加いただいています。また、石狩市民図書館との協働事業では『中古本リサイクル市』も、市民の皆様から読まなくなった本を集め、次の読み手に繋いでいます。売り上げは、図書館の蔵書の購入や運営に必要な備品購入などに充て、市民に還元し、残った本は東京のNPO法人JENの『ブックマジック』に送ることにより、海外の教育支援等に役立てられています。



いしかり食と農の未来づくり事業の「季節を楽しむ地産地消講座」



中古本リサイクル市

【取り組みと成果】

まちづくりのNPO法人として、「市民力で元気なまちを!」というテーマを掲げ活動していますが、まち全体の高齢化に伴い高齢者向けの講座が中心となっています。ここ数年では、アクティブシニア向けのトレーニング連続講座を毎年内容を少しずつアップデートしながら開催しています。令和7(2025)年は、筋力を

鍛える「筋トレ」と、嚥下力を鍛える「ボイトレ」を 2回ずつ行い大変好評でした。講演会は、『終活のプロによる老後準備のすすめ』を開催しています。

元気なまちをつくるためには、まずそこに暮らす市 民が元気であることが必要不可欠だと感じています。



アクティブシニアのためのトレーニング連続講座ボイトレ編

いしかり食と農の未来づくり事業から誕生した、市 民参加型で石狩市の落花生栽培を支援する『石狩落花 生研究会』は、発足から10年という節目を機に石狩市 の事業から独立をしましたが、事務局を引き続き担っ ています。

独立を果たした今でも、「落花生を石狩市の特産品に!」という目標は健在で、事務局という立場で"ひと"と"まち"を繋いでいます。



石狩落花生研究会10周年記念祝賀会

令和元(2019)年に石狩市の持つ魅力を、まず石狩市で暮らす人たちに知ってほしいという想いで企画したイベント『まちフェスいしかり』では、市民が主体となった実行委員を立ち上げ、石狩市内の飲食店、生

産者、福祉事業所、ハンドメイドを楽しむ市民に呼び かけ、回を重ねるごとに来場者数も増加し規模が拡大 していっています。

「第6回まちフェスいしかり ~つなぐ、つながる ∞まち、未来~」は、令和7年11月16日(日)10時~ 15時に花川北コミュニティセンター内で開催を予定し

ています。出店者の9割が、石狩市民または石狩市に所在する店舗や団体で、まさに「石狩市民のためのイベント」に成長してきたと感じています。



まちフェスいしかり名物 「石狩産野菜詰め放題|

【未来を紡ぐまちづくり団体へ】

石狩市市民活動情報センターに来館される方たちの 求めていることにアンテナを張り巡らせ、企画してい きたいと思います。

どの団体でも共通している課題ではありますが、次の世代に繋いでいくことが重要です。まだ先のことと考えず、今の自分たちが行っていることすべてを繋いでいくため、ひとつひとつの出会いを大切に事業を行っていきたいと思います。

初心を忘れることなく、「ひとまちつなぎ石狩」と いう名に恥じないように。

> ひととひと 手をつなぎ ひとともの 出会いをつくり 元気なまちに 住みたいまちに 豊かな地域を めざします



NPO法人 ひとまちつなぎ石狩

https://blog.canpan.info/hitomachi3213/